

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目
目コード:200010

特別研究(女性看護学分野) Special Research

担当教員	米田 昌代 亀田 幸枝				
実務経験					
開講年次	2年次通年	単位数	6	授業形態	-
必修・選択	必修	時間数	135		
該当ディプロマポリシー	(1)	◎	(2)	○	(3)
Keywords	女性看護学、リプロダクティブヘルス・ライツ プレコンセプションケア メンタルヘルス ベリネイタル・ロス グリーフケア 社会実装、文献検討、研究計画書、論文作成				
学習目的・目標	女性看護学の特論および演習を踏まえて、女性看護および助産のこれまでのケアの理論や技術の再確認や、エビデンスに基づき見直すこと、新たなケア方法の開発など、ケアの向上のための研究を行う基礎能力を修得するため、疫学的な量的研究方法や事例での質的研究方法を用いて、それぞれの課題を系統的に探究し、修士論文としてまとめる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
	下記、研究課題の決定、研究計画の立案から論文提出にいたるまで、ポイントを押さえて個別指導を行っていく。 (1) 漠然とした問題意識や興味から文献検索やブレインストーミング等を行う (2) 先行研究や文献を理解し、系統的な文献概観を行う (3) 研究課題を決める (4) 研究デザイン・研究目的・研究方法を決める (5) 具体的研究計画書の作成 (6) 倫理委員会への申請 (7) フィールドの調整、データ収集と分析と整理 (8) 分析結果についての考察を十分に行う (9) 論文執筆 (10) 論文提出 (11) 論文発表 研究検討会を定期的に関き、研究の進捗状況に合わせて、研究方法の検討を行っていく。課題と進捗状況に応じて柔軟に計画を進めていく。			個別指導 グループ指導	米田 亀田
教科書	なし				
参考図書等	随時提示する				
評価方法・基準	修士論文の完成度 100%				
関連科目	看護研究、データ分析方法論、女性看護学特論Ⅰ、女性看護学特論Ⅱ、女性看護学特論Ⅲ、女性看護学演習Ⅰ、女性看護学演習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	女性看護のケア向上のための研究を行うために、まず自主的な態度を重んじます。				